

感染症の影響で遠出がしづらい、また密を避ける生活を
皆さん送つておられる」とと思います。そんな窮屈な日
常ではありますが、「ふと身近なところに素敵なものがあ
ることに気づかされました。三重町に住んで20年、初め
て「菅尾石仏」、「犬飼石仏」を訪れました。静謐な空間
に身を置き、ひと時の安らぎを得ることが出来ました。

ひがしの空から

幸せな人生へのお手伝い

CONTENTS

- ◆コロナ禍
～小児症例の特徴とワクチンに関して～
- ◆清川町とマズロー

訪問診療とは

三重東クリニックでは、介護に関するご相談を承っております

マイペット紹介

編集後記

表紙写真・文：飯尾 文昭（三重東クリニック副院長）



コロナ禍

「小児症例の特徴とワクチンに関する」

副院長 別府 幹庸



呼吸が必要になつたりする割合が、若い人達よりも高いことがわかつています。そして小児とされる年齢層ではほとんど重症化せずに経過し、治つてしまいます。この反応の違いはどこに原因があるのでしようか？これは、はつきりとした原因是わかつていませんが、いくつかの仮説があります。

1. 小児は、強力な自然免疫を持っている。これが、新型コロナウイルスに対する強力な防御になる

小児は、何度もウイルス感染にさらされます。これが、自然にウイルスを体内から排除する能力を強くして、新型コロナウイルスであつても排除してしまうということです。

2. 健康な小児は自然な状態でのどに共生菌を持っている。これが新型コロナウイルスの感染を抑えている

鼻やのどに正常な状態でも存在する、善玉のバイ菌がコロナウイルスの侵入を防いでいるという考え方です。

3. 成人に比較して、血管が傷害されてしまう

2019年末に中華人民共和国の武漢で始まつたとされる新型コロナウイルス感染症は、現在の国同士の密接な関係から、瞬く間に全世界に流行が拡大してしまいました。特に、ヨーロッパとアメリカ合衆国では感染の爆発が起こり、多くの感染者、および死者が出ています。我が国でも、2回にわたる緊急事態宣言が発出され、流行の波は第3波まで確認されています。

大分県においても、昨年3月に大分市東部地域での4病院の感染事例など、大きく話題になりました。また、豊後大野市でも、小児を含む感染事例がみられており、まさに足下まで感染拡大が来っていました。

さて、新型コロナウイルスに感染したときに重症化する割合は年齢によつて違うとされています。特に、高齢の方々に感染した場合は重症化して人工

呼吸が必要になつたりする割合が、若い人達よりも高いことがわかつています。そして小児とされる年齢層ではほとんど重症化せずに経過し、治つてしまいます。この反応の違いはどこに原因があるのでしようか？これは、はつきりとした原因是わかつていませんが、いくつかの仮説があります。

1. 小児は、強力な自然免疫を持っている。これが、新型コロナウイルスに対する強力な防御になる

小児は、何度もウイルス感染にさらされます。これが、自然にウイルスを体内から排除する能力を強くして、新型コロナウイルスであつても排除してしまうということです。

2. 健康な小児は自然な状態でのどに共生菌を持っている。これが新型コロナウイルスの感染を抑えている

鼻やのどに正常な状態でも存在する、善玉のバイ菌がコロナウイルスの侵入を防いでいるという考え方です。

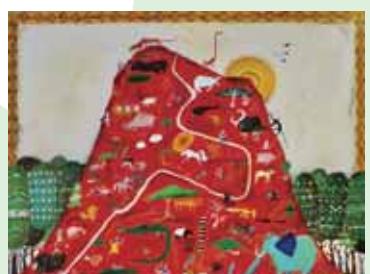
3. 成人に比較して、血管が傷害されてしまう

小児から小児、あるいは小児から成人への感染はほとんどみられず、小児患者が原因となつたクラスターは世界中探してもほとんどありません。ただし、小児で新型コロナウイルス感染症が診断されたときには、周囲に感染があることがほとんどで、周囲に感染した人がいないか？調べる必要があります。また、小児での感染症発見がもとになつて、クラスターの全容が早めに見えてくることもあり、結果として感染の拡大を抑えることができることがあります。ですから、小児は新型コロナウイルス感染症になつてもほとんどは軽症で済みますが、「その児が新型コロナウイルス感染症であるということを診断する」必要がないわけではなく、積極的に診断する意義があります。

今回、話題になつてているmRNAワクチンは、今までのワクチンとはまったく別の手法で作られています。そして、このワクチンは、3週間もあれば新しい設計のものを作ることができます。さらに効果は、南米で行われた試験によると、3週間間隔で2回接種した場合、接種後1週間以上経過したときに、偽薬を接種した人たちと比べて、90%以上の感染を防いだとの結果があります。

検証が進んでいる途中ですが、アナフィラキシーなどの重い副反応も、ここまで多くなく問題なく接種が進められます。

皆様には、このワクチンを接種いただき、「コロナ禍を乗り越える力を社会にいただければ！」と思います。



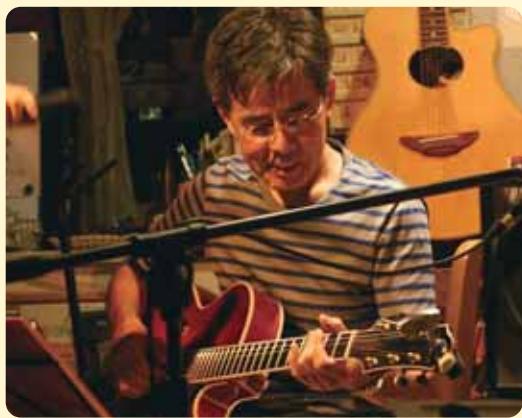
新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの話題は、巷を賑わせていました。この感染症はものすごいスピードで全世界を飲み込みました。在来型のワクチンは、病原体であるウイルスを人工的に育てて、その後、「体に入れても病気を発症しない」ようにする行程を経てヒトに接種されるようになります。このタイプのワクチンは、開発に手間取り2~3年はかかりますし、有効率も低いのです。

ワクチンの話題は、巷を賑わせていました。この感染症はものすごいスピードで全世界を飲み込みました。在来型のワクチンは、病原体であるウイルスを人工的に育てて、その後、「体に入れても病気を発症しない」ようにする行程を経てヒトに接種されるようになります。このタイプのワクチンは、開発に手間取り2~3年はかかりますし、有効率も低いのです。

ワクチンの話題は、巷を賑わせていました。この感染症はものすごいスピードで全世界を飲み込みました。在来型のワクチンは、病原体であるウイルスを人工的に育てて、その後、「体に入れても病気を発症しない」ようにする行程を経てヒトに接種されるようになります。このタイプのワクチンは、開発に手間取り2~3年はかかりますし、有効率も低いのです。

清川町とマズロー

事務長 甲斐 敏幸



る。一昨年来の診療所存続についての地元住民との対話の中で、私は忘れかけたものを思い出した気がする。活性を鼓舞し、診療所をもう一度守り立てようと話す人がたくさんいた。地域医療は提供する側の一方的なものではない。住民と医療の相互がお互いに助け合い、信頼のうえに成立するものだ。私たちの文化は、お互いを支え合う、豊かなコミュニティだということを教えてもらつた。

アブラハム・マズローは人間の欲求を五つに分けた。学生時代、社会学の講義で知つたが、数十年経つて、マズローをよく聞く。

1. 生理的欲求

(Physiological needs)

2. 安全の欲求 (Safety needs)

3. 社会的欲求／所属と愛の欲求
(Social needs / Love and belonging)

4. 承認（尊重・尊厳）の欲求
(Esteem)

5. 自己実現の欲求
(Self-actualization)

清川診療所を豊後大野市からお引き受けして、十年が経過しようとしているが、

それは西洋思想であり、日本人とは相容れないものだ。

私は清川町の方々と接しながら、そこの崇高な精神と地域を愛する心に敬意を感じ、マズローを思い出した。清川町全体の義務を負う存在として、私たち医療者もその一端に加えてほしい。グローバルな混沌と多様性のなかで、それでも清川町の方々は、それぞれの役割を模索し続けている。



訪問診療とは



様々な理由で通院が困難な患者様の自宅等に医師が定期的に伺いし、計画的に健康管理を行うことです。定期の訪問に加え、緊急時には365日×24時間体制で対応、必要に応じて臨時往診や入院先の手配などを行います。

訪問診療の最大のメリットは、「住み慣れたお家で医療を受けられる」ことです。長引く治療や入院生活は患者さんにとって、身も心も大きな負担になります。そんな生活に対して、訪問診療の場合は、家族とこれまでと変わらずに生活をすることになり、様々なことに制限が出てきてしまいます。知らない方たちに囲まれて、長期間生活をするのは誰にとっても大きな負担になります。そんな生活に対して、訪問診療の場合は、家族とこれまでと変わらず生活を行うことが可能です。

その他、患者様・ご家族の医療に関する相談、生活面におけるアドバイス、様々な職種や関係機関との連携、調整を行います。

三重東クリニック・三重東介護サポートセンター三つ葉では、患者様やご家族の想いを大切に、心の通った医療を提供します。ご相談等がありましたら、医師又はケアマネジャーまでお気軽にお問い合わせください。

三重東クリニックでは、介護に関するご相談を承っております

★希望される方は、医師や看護師または受付の事務職員まで、お知らせ下さい。直接、電話でも受付しております。

直通電話 0974-22-7715

(三重東介護サポートセンター三つ葉)

(月～金の8:30～17:30

まで、土日祝日はお休み)

※当事業所は、三重東クリニックの建物内にあります。

三重東介護サポートセンター三つ葉では、介護保険サービスと高齢者福祉サービスのご相談を受けて、必要なサービスが利用できるように、医療と連携して支援を行っています。ケアマネジャー（介護支援専門員）の資格をもった職員が、ご利用者やご家族と話し合いをしながら、その人らしい生活ができるよう支援を行っていきます。

- ・気になることがある。
- ・最近、足の筋力が落ちて、つまずく事が多くなつた。
- ・体力が落ちて、家事をするのがつらくなつた。
- ・外を歩く時に疲れるので、歩行補助具がほしい。
- ・食事でむせることが多くなつた。
- ・自宅で入浴をするのに、一人では不安になつた。
- ・日中一人で過ごすことが多くなつて、外出する機会がほしい。
- ・排泄面で気になることがある。
- ・薬を飲み忘れることがある。
- ・健康に関する相談をしたい。
- ・物忘れが出てきた。または気になる。

※一例です。

寒かった今年の冬も終わろうとしています。春になつたらお弁当と犬のおやつを持って、満開の桜の花を見に行きたいです。



今回は医療の内容を離れ、うちのペットを紹介します。

キヤバリア・キング・チャールズ・スパニエルという犬種で、名前は「茶豆」といいます。我が家に来て、早6年が過ぎました。

「茶豆」は、子供達の成長と共に過ごしました。子供達にとつて「茶豆」との触れ合いは、かけがえのない触れ合いのようです。

さて、犬の6歳は、人間でいうと私と同じ40歳前後に相当するそうです。先日歩き方がおかしく動物病院に行つたら腰椎椎間板ヘルニアのようですねとのことで、目下療養中です。体

重が増えると腰に悪影響なので、食事の量を減らしていますが、食いしん坊の「茶豆」には堪えるようです。

そんな「茶豆」は私が仕事から帰つたら、出迎えてくれます。そのキュートな笑顔に1日の疲れが吹つ飛びます。昨年までは玄関先でじやれあつていたのですが、この1年でじやれあう

三重町には山頭火が飲んだ湧水がある。「行乞してゐる」と、人間の一言一行が、どんなに人間の心を動かすものであるかを痛感する、うれしい事でも、おもしろくない事でも」。行く先々で、土地の人

は何か奪われるのではないかと入り込まれるのではないかと訝つた。しかし、山頭火は後生の人たちに言葉という勇気を与え続けている。決して奪うのではなく。芸術に時間の隔たりや国境はない。

いまここ、その刹那の感性を昇華し続けた山頭火の思い。だからこそ人々の心を奪い続ける。「行乞記」を読むと、彼が目指した飾り気のない真実に触れることができる。(甲斐)

マイペット 内科医長 木崎 佑介

編集後記



広報誌『ひがしの空から』

発行：社会医療法人 関愛会 三重東クリニック

〒879-7104 大分県豊後大野市三重町小坂4109-61

Tel. 0974-22-6333 Fax.0974-22-6341

